

## 『食道破裂の全国実態調査』について

### ➤ 研究（調査）の目的と概略

食道破裂の原因としては嘔吐、医原性、異物、外傷性、特発性によるものなどが挙げられますが、大規模な全国実態調査による全体数の把握は行われておらず、その病態に関しても正確な認識がされていないのが現状です。全国実態調査を実施することで各原因別の詳細を把握し、その病態や定義に関して整理することが必要です。また各施設間での経験症例には限りがあり、全国実態調査を通じて食道破裂の診断および治療方針に関する一定の基準を設けることを目的としています。

### ➤ 研究（調査）の方法

日本食道学会の各食道外科専門医認定施設における現在までの食道破裂症例のデータをアンケート形式で集積します。データの集積結果をもとに、各症例の病態および行われた治療法に関する解析を行います。解析結果から、現在の疾患定義が適切か協議を行い、統一した定義の基で診断基準および各原因別での治療戦略に関する統一見解を作成します。

### ➤ 研究（調査）の参加施設

日本食道学会食道外科専門医認定施設

### ➤ 調査期間

2016年6月16日～2016年11月30日

### ➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、2010年1月1日～2015年12月31日に食道破裂で治療を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

### ➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

### ➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。  
研究責任者：桑野博行（群馬大学大学院 病態総合外科）